



ふじかわ塾 開校

令和7年度

初心者向け 小説の書き方・脚本の書き方

ことばで表現をしたい、創作をしたいという方、ご応募ください。
二人の塾長がアドバイスをします。

受講料/無料

【内 容】 令和8年3月までに、作品の完成を目指します。

好きなテーマで執筆(相談可) 塾長は、塾生の作品の添削・講評・アドバイスを行います。

【対 象】 中学生以上(町内外は問わず) 小説または脚本を書きたい方

【定 員】 〈小説コース〉〈脚本コース〉各コース 10名程

【会 場】 富士川地方合同庁舎 2F会議室 他

【申 込】 7月1日(火)午前9時30分～ 図書館カウンターまたはWEBフォーム

*8月1日(金)以降に、受講の詳細について図書館から連絡をします。

【開催日】 **第1回・開校式 8月17日(日) 午後2時～3時**

開校式及び第1回講義として、両塾長による〈開校記念対談〉を行います。

*対談終了後、コースごとに次回以降の日程を決めます。(3回程度を予定)

応募フォーム



小説コース

塾長

江宮 隆之 氏

作 家 富士川町在住



山梨日日新聞記者を経て、フリーに。
郷土の人物評伝や歴史作品・歴史小説を
手がけ、戦国時代に造詣が深い。著書は
80冊を超える。歴史文学賞・中村星湖賞
を受賞し、著書『白磁の人』は課題図書
に選ばれ、映画化もされている。

〈塾長からのメッセージ〉

小説を書いてみたい、自分なりの表現をしたい、という人
が増えています。そうした人たちのための「塾」を開きます。
もちろん、初心者大歓迎。鉛筆とノート(原稿用紙)があ
れば、書くことができる、それが文芸の魅力です。書いて
みたい、興味があるという皆さんご参加ください。

脚本コース

塾長

矢崎 仁司 氏



脚本家・映画監督 富士川町在住

大学在学中に監督デビュー。登場人物た
ちの心の機微を丁寧に描く作風が特徴。
映画作品は国内はもとより海外でも高い
評価を得る。最新作『早乙女カナコの場合』(柚木麻子原作)が配信中。現在す
でに、新作の制作を行っている。

〈塾長からのメッセージ〉

脚本なんて難しい…と思いませんか？
脚本には、書き方のルールがあります。そのルールに則っ
て取り組めば誰にでも書くことができます。AIには決して
書けない、人間へのまなざし、ぬくもりのあるシナリオを私
と一緒に書いてみませんか？

開校記念対談
聴講申込

定員20名(先着順)



8/17に開催される〈開校記念対談〉の聴講申込を受け付けます。

7月29日(火) 午前9時30分～

図書館カウンター・電話・WEBフォーム

主催・問合せ 富士川町立図書館

〒400-0601 山梨県南巨摩郡富士川町鯉沢1760-1

電話 0556-22-7212